

経営比較分析表（令和元年度決算）

愛知県 松山市

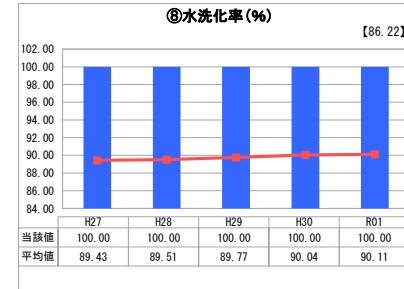
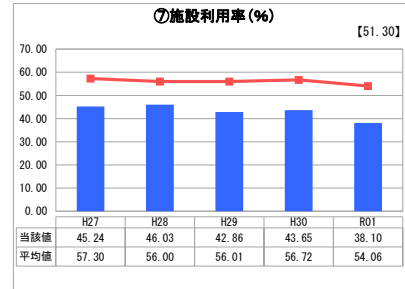
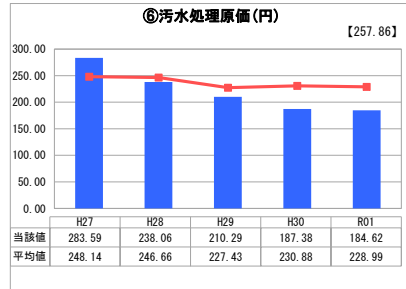
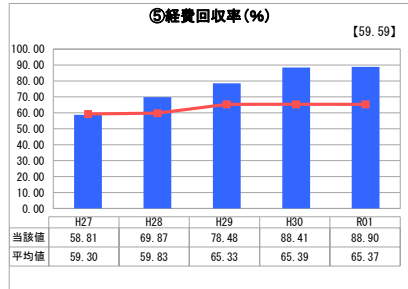
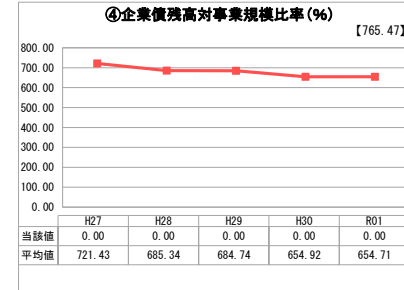
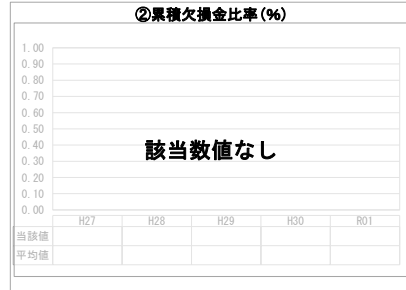
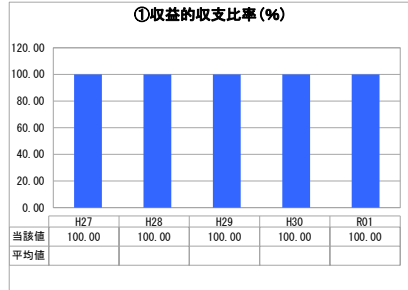
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	0.04	99.24	3,380

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
511,310	429.40	1,190.75
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
209	0.18	1,161.11

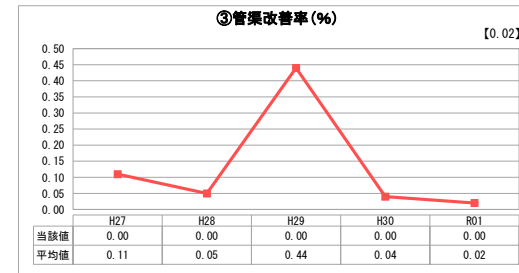
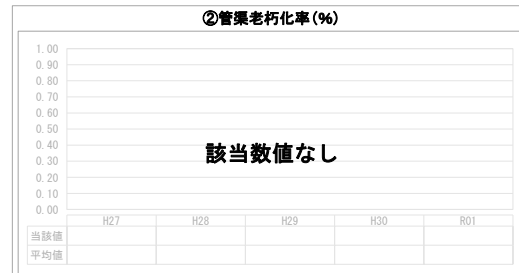
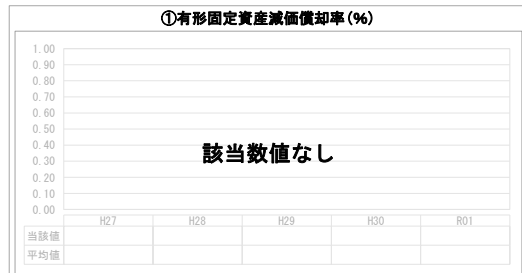
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、事業の規模が小さく、事業費の不足分を一般会計から繰り入れている状況で、昭和50年代に整備して以降、大規模な投資を行っておらず、企業債残高はない。

令和元年度は、前年度に比べて修繕費等の維持管理費が減少したため、「経費回収率」は改善した。これに伴い「汚水処理原価」は、前年度に引き続き減少傾向となっている。

また、「施設利用率」は、当該事業の利用者が近年減少していることから、類似団体平均よりも低い数値で推移している。

2. 老朽化の状況について

近年、管渠に係る修繕は実施しておらず、「管渠改善率」も算出されていない。

令和2年度に施設の機能診断調査を実施し、最適整備構想を策定することとしており、その構想に基づき適切な改築・修繕等を実施していく。

全体総括

本事業は、事業の規模が小さく、事業費の不足分を一般会計から繰り入れている状況である。

今後は、人口減少による減収や施設の老朽化が進むことが予想されるため、令和2年度に施設の機能診断調査を実施し、最適整備構想を策定することとしているため、その構想に基づき持続可能な事業経営を行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。